

常葉大学  
常葉大学短期大学部

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	常葉大学			設置者名	学校法人 常葉学園			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成24年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
						実数	個別	
教育学部	初等教育課程	110人	幼一種免	平成16年度	132人	129人	8人	102人
			小一種免	平成16年度			126人	
			中一種免(国語)	平成16年度			29人	
			高一種免(国語)	平成16年度			28人	
			中一種免(社会)	平成16年度			31人	
			高一種免(地理歴史)	平成16年度			26人	
			中一種免(数学)	平成16年度			25人	
			高一種免(数学)	平成16年度			19人	
			中一種免(理科)	平成16年度			18人	
			高一種免(理科)	平成16年度			17人	
			中一種免(音楽)	平成16年度			12人	
			高一種免(音楽)	平成16年度			11人	
			特支一種免(知・肢・病)	平成24年度			—	
			生涯学習学科 生涯スポーツ専攻	30人			中一種免(保健体育)	
			高一種免(保健体育)	平成24年度	—	—	—	—
外国語学部	英米語学科	100人	中一種免(英語)	平成12年度	110人	15人	15人	12人
			高一種免(英語)	平成12年度			13人	
造形学部	造形学科	80人	中一種免(美術)	平成14年度	78人	8人	7人	3人
			高一種免(美術)	平成14年度			7人	
			高一種免(工芸)	平成14年度			—	
経営学部	経営学科	300人	高一種免(商業)	平成25年度	—	—	—	—
健康プロ デュース 学部	健康栄養学科	80人	栄教一種免	平成25年度	—	—	—	—
	こども健康学科	50人	幼一種免	平成25年度	—	—	—	—
	心身マネジメント 学科	110人	中一種免(保健体育)	平成25年度	—	—	—	—
高一種免(保健体育)			平成25年度	—	—	—	—	
社会環境 学部	社会環境学科環境・自然 再生コース	30人	中一種免(理科)	平成25年度	—	—	—	—
			高一種免(理科)	平成25年度	—	—	—	—
保育学部	保育学科	80人	幼一種免	平成25年度	—	—	—	—
入学定員合計		970人	合計		320人	152人	392人	117人
大学名	常葉大学(大学院)			設置者名	学校法人 常葉学園			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成24年度)			
研究科	専攻等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
						実数	個別	
国際言語 文化研究 科	英米言語文化専攻	10人	中専免(英語)	平成8年度	0人	0人	0人	0人
			高専免(英語)	平成8年度			0人	
	国際教育専攻	10人	小専免	平成8年度			2人	
初等教育 高度実践 研究科	初等教育高度実 践専攻	20人	小専免	平成20年度	18人	18人	18人	17人
入学定員合計		40人	合計		20人	18人	18人	17人

大学名	常葉大学短期大学部			設置者名	学校法人 常葉学園			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成24年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者 数
						実数	個別	
	日本語日本文学科	80人	中二種免(国語)	平成11年度	63人	4人	4人	0人
	英語英文科	80人	中二種免(英語)	平成11年度	45人	4人	4人	0人
	保育科	200人	幼二種免	平成11年度	222人	216人	216人	61人
	音楽科	55人	中二種免(音楽)	平成11年度	32人	5人	5人	0人
入学定員合計		415人	合計		362人	229人	229人	61人
大学名	常葉大学短期大学部(専攻科)			設置者名	学校法人 常葉学園			
専攻科の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成24年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者 数
						実数	個別	
	専攻科国語国文 専攻	20人	中一種免(国語)	平成11年度	8人	0人	0人	0人
	専攻科保育専攻	20人	幼一種免	平成11年度	12人	12人	12人	6人
	専攻科音楽専攻	20人	中一種免(音楽)	平成11年度	25人	4人	4人	1人
入学定員合計		60人	合計		45人	16人	16人	7人
備考	・「学部・学科・研究科等の名称等」欄は、平成25年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

## 教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成25年7月1日（月）  
実地視察大学：常葉大学・常葉大学短期大学部  
実地視察委員：梶田叡一委員，佐々祐之委員

## 【全般的事項】

- 例年静岡県内の教員採用者の約3割が卒業生であるなど，教育学部初等教育課程を中心に教員採用実績も高く，教員養成に関する教育課程及び教員組織等について，おおむね問題無く実施されていることが確認された。
- 教育課程について，「2.」で指摘するように，教育職員免許法施行規則及び教職課程認定基準等の観点から，是正すべき点が確認されたため，その点については，速やかに是正すること。
- 平成25年度から常葉学園大学，浜松大学，富士常葉大学を統合し，新たに3つの離れたキャンパスを置く常葉大学となっているが，教員を目指す学生に対して，どこのキャンパスであっても，充実した教職指導が実現するように，引き続き教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

## 【個別事項】

## 1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 教育学部（初等教育課程），健康プロデュース学部（こども健康学科），保育学部（保育学科）以外の学部・学科においても，教員免許状を取得できる課程が置かれていることから，これら課程においても「教科に関する科目」，「教職に関する科目」の有機的，体系的な教育課程の工夫や，教職指導の充実が図られるように，教員養成カリキュラム委員会を中心として，より一層の充実に努めていただきたい。
- 短期大学部について，保育科以外の学科においても教員免許状の取得が可能となっている以上，教職指導センターの充実はもとより，学校現場体験の機会の充実等を図るよう努めていただきたい。
- 教職課程は，教員免許状という資格を授与するための課程であることに鑑み，授業内容の扱いについて，個々の教員に完全に委ねるのではなく，教職に関する全学組織で定められた教育課程の編成方針のもと，その内容の点検・検討ができるような体制・仕組みの構築が必要であるため，今後御検討いただきたい。

## 2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目），履修方法及びシラバスの状況

- 「教職に関する科目」について，教育職員免許法施行規則第6条第1項表に定める「含めることが必要な事項」が含まれているか否か，シラバスからは判断できない授業科目があるため，法令で扱うこととしている内容は必ず扱うようにすること。なお，シラバスの記載内容及び記載方針を定め，法令に定める「含めることが必要な事項」が取り扱われているかどうかを，シラバスの授業計画から確認できるよう

- にするとともに、学生にとっても分かりやすいものとなるように心がけること。
- 大学において教員養成を行っていることに鑑み、「教職に関する科目」においても、技術のみならず、各内容の背景にある理論についても取り扱い、バランスの良い授業内容となるよう心がけていただきたい。
  - 教育学部初等教育課程の幼稚園の教職課程及び小学校の教職課程の「教職に関する科目」の専任教員として位置付けられている者が、初等教育課程以外の中学校及び高等学校の教職課程の「教職に関する科目」の専任教員として位置付けられているように見受けられた。確認の上、教職課程認定基準に定める必要専任教員を速やかに配置すること。

### 3. 教育実習の取組状況

- 教育実習生の指導等については、地元教育委員会からも高い評価を受けており、丁寧な実習指導が行われている様子が見られた。
- 一方で、学生の母校において教育実習を受ける学生も一定数いることが確認された。大学による教育実習指導体制や評価の客観性の観点から、遠隔地の学校や学生の母校における実習ではなく、可能な限り大学が所在する近隣の学校において実習校を確保することが望ましい。今後、地元教育委員会や学校との更なる連携を進め、近隣の学校における実習先の確保に努めるとともに、附属学校の積極的な活用を御検討いただきたい。

### 4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 教職指導センターにおいて、少ない職員数であるが、教育実習指導、学校ボランティア等の推進、教職指導等の支援等を熱心に行っている様子が見られた。今後、浜松キャンパス、富士キャンパスにおいても同様の機能が整備されることを期待する。
- 短期大学部において、保育科以外の学科では教職希望者が少ないようであるが、保育科と同様の水準の教職指導を学生が受けられるように、全学的な指導体制の整備を御検討いただきたい。

### 5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 学校現場体験、ボランティア体験の機会の充実に向けた取組を行っているとのことであったが、実際の参加者数は、附属小学校における水泳指導を除くと、決して多いとは言えない。教職に関心のある学生が、早い段階から学校におけるボランティア活動等を通じて、教職の魅力や教員としての適性等を把握した上で、教員免許状の取得を目指すことは重要である。このため、学生が教育実習以外にも学校現場等での体験機会を得ることができるよう、教職に係る全学的な組織を中心に、地元教育委員会・学校等と積極的な連携を図り、学校現場体験等を内容としたボランティア活動等の推進に努めていただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

○図書，施設・設備ともに充実した環境であることが確認された。今後，取得可能な免許教科に関する教科書の充実，白書及び中央教育審議会の答申等の教育に係る政策動向について知ることができる資料等の充実も図るよう努めていただきたい。

7. その他特記事項

○特になし